

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》

●研究の名称

自動車事故による重症損傷予防に向けた、関連因子の検討

●研究の対象

2012年1月から2019年3月までに、京都第二赤十字病院より日本外傷データバンク（Japan Trauma Data Bank; JTDB）に登録された、四輪自動車に係る交通外傷症例を対象としています。

●研究の目的

自動車の安全性能の向上や法律の整備等が進んだことにより、交通外傷による死者や重症者数は減少傾向ですが、2021年の交通事故による死者数は2,636名、重症者数は27,104名とその数は依然として多い現状があります。四輪自動車の係る事故に関しては、乗員だけでなく、歩行者や自転車乗員、自動二輪車乗員など事故時の外力の受け方によって外傷の形態は様々で、その外傷の特徴を把握することが重要です。本研究では、四輪自動車に係る交通外傷における特徴を検討し、今後の重症外傷の予防や対応へ活用を進めることを目的としています。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2024年3月31日まで

●研究の方法

JTDBから《利用する試料・情報の項目》に記載しているデータを抽出・検討すると共に、解剖学的評価法（Injury Severity Score; ISS）、生理学的重症度評価法（Revised Trauma Score; RTS）、解剖学的指標と生理学的指標を統合した評価法（Trauma and Injury Severity Score; TRISS）によってそれぞれ検討し、重症となり得る独立した危険因子を明らかにします。

《利用する試料・情報の項目》

●試料：なし

●情報：四輪自動車に係る重傷事故症例の受傷機転、乗車位置、病院搬入時の生理学的状態、受傷部位や重症度および転帰など

《利用を開始する予定日》

研究機関の長の実施許可日

《利用する者の範囲》

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 救急科 石井 亘

《試料・情報の管理について責任を有する機関の名称》

京都第二赤十字病院

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：救急科 石井 亘

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）